

令和7年度 学校経営方針 ～求められる「人財」の具体像～

求められる「人財」とは？ どんな子どもを育てるの？

- 夢と希望を持って国際性を身に付け、自らの可能性を伸ばし、個性を発揮しながら、未来を切り拓くために「**果敢に挑戦する人財**」
- 人と人、人と地域のつながりを大切にし、他者への共感や思いやりを持って、多様な価値観を持つ人々と共に輝き、「**新たな価値を共創する人財**」
- 郷土への愛や誇りを持ち、未来社会の創り手として主体的に考え、意欲的に学び続けながら、「**地域のために行動する人財**」

1 校訓 「やり遂げる」

2 学校教育目標

校訓「やり遂げる」の精神で、知・徳・体の調和のとれた、人間性豊かでたくましい生徒を育てる。



3 めざす生徒像

- 進んで学習に取り組むことができる生徒
- お互いを認め、支え合える生徒
- 健康で明るく、主体的に行動できる生徒

4 めざす教師像

- 教育に情熱を持ち、授業を大切にする教師
- 生徒に学び、ともに伸びていこうとする教師
- 教員としての自覚を持ち、研修を大事にする教師

5 経営の基本方針

- (1) 基本的な生活習慣や学習習慣の定着を図り、未来を切り拓く力の育成に努める。
- (2) 心身ともに健全で、人権を大切にする生徒の育成に努める。
- (3) 生徒の自主性を育む授業等の推進に努める。
- (4) 家庭や地域との連携を図り、信頼される学校づくりの推進に努める。

6 本年度の重点目標

- (1) 確かな学力を育てる学習指導
- (2) 個に応じた特別支援教育の充実
- (3) 豊かな心と健やかに生きる力の育成
- (4) 実践力を育む人権・道徳教育の推進
- (5) 協働した組織的な業務執行体制と機能的で合理的な学校運営

7 本年度の重点目標の内容

(1) 確かな学力を育てる学習指導

- ①主体的・対話的で深い学びの実現をめざし、ICTを活用した授業実践を展開する。
- ②生徒自身が学びによって喜びや達成感を実感できる学習活動を展開する。
- ③生徒が自分の将来にとって必要な学びを意識し、主体的に学習に取り組む態度を育てる。

(2) 個に応じた特別支援教育の充実

- ①生徒一人ひとりの特性や学習スタイルに応じた支援の提供をおこなう。
- ②通常学級における合理的配慮の推進を進めるとともに、特別支援学級での指導の充実と支援体制の強化を図る。
- ③特別支援教育コーディネーターを中心に教職員間の連携を図り、適切な指導方法を共有する。

(3) 豊かな心と健やかに生きる力の育成

- ①基本的な生活習慣の定着を図り、運動機会を大切にするとともに、特別活動等を通して自発性や創造力を伸長する。
- ②人権を尊重する精神を育み、同和問題をはじめとする人権問題についての正しい理解と実践力の育成に努める。
- ③特別支援教育のための校内体制を充実させ、適切な合理的配慮を生徒に提供する。

(4) 実践力を育む人権・道徳教育の推進

- ①教育活動全体をとおして人権尊重を捉え、全教職員の総意に基づき人権教育を徹底・浸透させる。
- ②職員研修を充実させ、教職員自身の人権感覚を磨き、実践的な指導力の向上を図る。
- ③縦割り班活動を活用することで、人権教育をより実践的に学び、助け合いの大切さや責任感、生徒がお互いを尊重する態度を養う。

(5) 協働した組織的な業務執行体制と機能的で合理的な学校運営

- ①教職員の個々の取組の上に教職員の協働した取組を重ねる。
- ②全職員による共通理解を大切にし、個々の研修の成果を教職員全員と共有する。
- ③全ての業務を見渡したときに公平感を感じられる組織づくりを進め、学校の体制としての働き方改革を推進する。